

切らずに治す内痔核治療—ALTA療法（ジオン注）について—

○ ジオン注とは

硫酸アルミニウムカリウム（Aluminum Potassium Sulfate）とタンニン酸（Tannic Acid）を有効成分とする局所注射用配合剤です。中国において内痔核の硬化療法として承認されている「消痔靈」の添加剤の一部を変更した製剤です。その頭文字をとってALTA療法と呼ばれています。

○ 作用機序

硫酸アルミニウムカリウムとタンニン酸が、痔核への血流遮断作用を介して速やかに止血効果を発揮して痔核を縮小させます。また、痔核間質組織への炎症惹起作用により組織線維化を介して粘膜下層や粘膜層を癒着・固定させる作用があります。

○ 特性

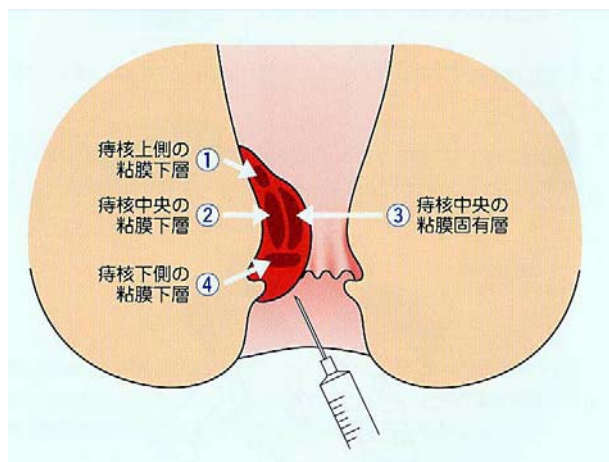
- ・内痔核の脱出および出血を早期に消失させる
- ・手術に比べ、「治療後疼痛・出血」などの出現頻度が低く、短期入院・早期会復帰が可能

○ 適応

脱出を伴う内痔核、出血を伴う内痔核

○ 投与方法

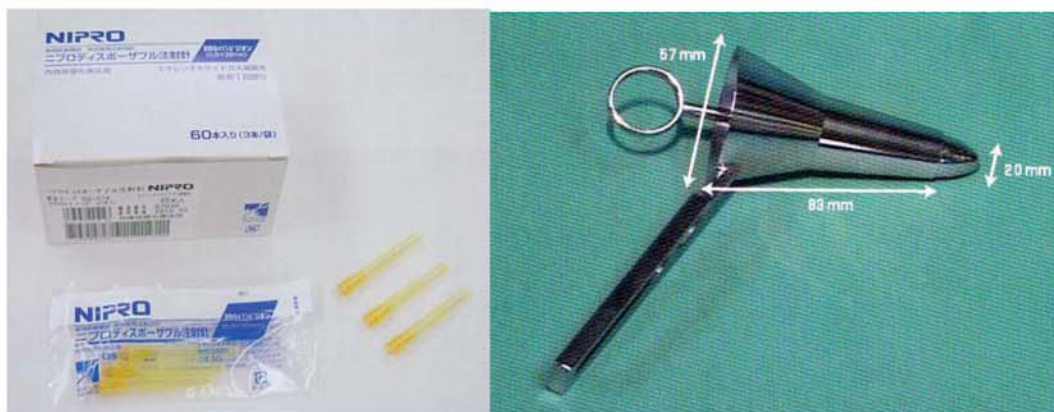
投与に際しては四段階注射法を遵守することが求められています。



ALTA 療法に際し、Z 式肛門鏡とジオン針の使用が必要となります。Z 式肛門鏡は注射器の使用に、ジオン針は直腸筋層内への誤注入防止に役立ちます。

ジオン針

Z 式肛門鏡



ALTA 療法は、投与手技である「四段階注射法」の難易度と合併症回避の観点から、使用に際しまして、「肛門領域に精通した医師」で、なおかつ注射手技講習会の受講が内痔核治療法研究会の指導により義務づけられています。

○ 合併症について

直腸狭窄、直腸潰瘍、直腸筋層壊死、前立腺炎など

○ 当院での ALTA 療法

現在 1 泊 2 日で ALTA 療法を行っていますが、症例によっては局所麻酔下での日帰り手術も導入予定です。

○ 参考

当科での肛門疾患手術の年次推移

